

写真資料 新公開のご案内

鈴木路雄撮影写真 55 枚を新公開！

昭和30年代の茨城県古河市を中心とした日常の情景をご覧ください



おままごと

古河市 昭和30年(1955)～32年



スケート

古河市錦町 昭和31年(1956)



羅宇屋 (らうや)

古河市横山町 昭和32年(1957)

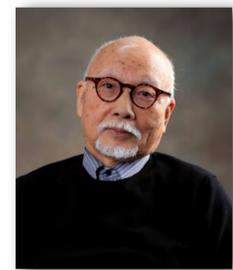


自転車の豆腐売り

古河市 昭和32年(1957)

撮影者紹介

鈴木 路雄 すずき みちお



昭和11年(1936)、茨城県古河市生まれ。

中学1年のとき、弟たちの子守や家の手伝いを条件に、父親からおもちやのカメラをプレゼントされたことがきっかけで写真に興味を持ち、独学で写真の技術を学ぶ。昭和30年(1955)頃から古河の風景を撮り始め、高校卒業後もプロの写真家を目指して写真雑誌への投稿を続ける。昭和32年に『アサヒカメラ』で佳作入賞を果たすが、その後、事情により写真家になることを断念。

昭和30年から昭和32年頃に撮影した古河市の人々や風景の記録は、写真集『セピア色の昭和時代』(国書刊行会、令和4年)などにまとめられた。



昭和館5階 映像・音響室 検索端末にてご覧いただけます。

